

法学専攻

| 修了年度 | 修士論文題目 |
|--|--|
| 令和元年度 | 交際費課税の解釈のあり方について－不確定概念を中心として－ |
| | 普天間基地移設問題をめぐる本土-沖縄関係についての考察 |
| | 検察審査会の現状と課題 |
| 令和2年度 | 再犯防止をめぐる多機関連携について－国と地方公共団体との連携を中心として |
| | 地域的不統一法国の国籍を有する者の本国法の決定についての考察 |
| | 宇宙空間における刑法の場所的適用範囲の問題についての考察 |
| | 親子会社間の寄附金税制の検討～非対価説と合理的な経済目的～ |
| | 譲渡所得課税の本質－通説「清算課税説」から「譲渡益説」への傾斜に関する考察－ |
| | 裁判員制度における責任能力の審理 |
| | 仕入税額控除における個別対応方式適用の法解釈～課税売上・非課税売上の混在する保険薬局事例を中心に～ |
| | わが国における一般的否認規定の導入の是非－法人税法の租税回避否認規定をもとに |
| 更正の請求における取消判決の拘束力－原則的排他性と行政事件訴訟法33条1項による救済の交錯－ | |
| 令和3年度 | 破産会社等が行った更正の請求による還付の可能性～クラヴィス事件及びTFK事件を素材として～ |
| | 船舶衝突における船舶所有者の第三者に対する責任 |
| | 既判力の客観的範囲－判決理由中の判断の拘束力と争点効理論の再検討－ |
| | 財産評価基本通達と租税法主義－財産評価の事実認定と課税要件の関係－ |
| 令和4年度 | フランチャイズのロイヤリティと所得税法37条1項必要経費のあり方－事業者（フランチャイザー）からの視点を中心に－ |
| 令和5年度 | 運送人の責任の範囲に関する考察 |
| | 取調べの適正化実現が刑事司法に与える影響 |
| | 課税要件法定主義と委任立法 |
| | 船主責任制限却事由における「自己」の範囲を画定する新たな理論について |
| | 不確定概念と課税要件明確主義－役員退職給与の規定を中心に－ |
| | アメリカの事例から考察する、日本のインターネットにおける楽曲著作権の展望 |
| | 青色申告更正処分における理由差替えの許容性－「基本的な課税要件事実の同一性」の検討－ |

経済社会システム専攻

| 修了年度 | 修士論文題目 |
|-------|---|
| 令和元年度 | 地域活動におけるアクターと地域社会の相互性に関する一考察——鹿児島市の地域猫活動を事例として—— |
| | 現代社会における「移場所」づくりの意義—鹿児島県指宿市のNPO法人による移動式ブック・カフェを活用した取り組みを事例に— |
| | 移転価格税制における最適な独立企業間価格算定に関する研究 |
| | 不完備契約理論による企業の資金調達行動分析—企業家の資金制約が決定権に与える影響を中心に— |
| | 日本のインバウンドの実態と課題—旅行サービス貿易からの分析— |
| | 中国の「一帯一路」構想と貿易・投資を通じた経済効果—広西チワン族自治区を中心に— |
| 令和2年度 | 新収益認識基準が旅行業に及ぼす影響—募集型企画旅行における収益認識の会計処理を中心に— |
| | 発達障害児への支援をめぐる保護者と教員の認識のズレとその帰結—支援に関する言説への相互作用論からのアプローチ |
| | 役員給与税制に関する「不相当に高額」の一考察—課税の公平性の観点から予測可能性の検証— |
| | 世界市場から見るインドEV戦略の行方—スズキの戦略— |
| | 主観的幸福度に対する影響要因について—地域間経済格差を縮小するための人口集中の改善方法に関する検討— |
| | 中国地方都市の青果物流通における電子商取引の発展と課題—「集合住宅住民による共同購入」モデルを事例に— |
| | 奄美群島区におけるIターン・Uターン者の職業選択行動に関する研究—大島郡瀬戸内町加計呂麻島における定住化の可能性— |
| 令和3年度 | Understanding the Labor Market Conditions through Multiculturalism: From Settlement to Employment of Filipino Residents in Kikai Island |
| | FILIPINO WORKFORCE FOR REGIONAL ECONOMY: SOME REMARKS ON AGRICULTURE IN OHSUMI REGION, JAPAN |
| | 社会的課題を解決するデジタル化の可能性 |
| | 医療サービス生産の効率性分析による病床規制の検証 |
| | 適格合併による欠損金引継ぎについての一考察 |
| | 在日中国人家庭の子育てと子育て支援に関する研究—鹿児島県の事例を中心に— |
| 令和5年度 | 改革開放以降の中国大都市消費者の消費行動の変遷とその要因—制度、市場、文化からの検討— |
| | 法人税法における公益法人等の取扱いについて—法人の種類と事業の関係による収益事業課税制度の検証— |
| | 外国人留学生と地域住民との交流を通じた相互学習に関する研究—鹿児島市八幡校区コミュニティの事例を中心に— |

人間環境文化論専攻

| 修了年度 | 修士論文題目 |
|-------|--|
| 令和元年度 | 日中若者のジェンダー意識から考えた中国のジェンダー平等教育－鹿児島県と山東省の比較調査より－ |
| | 鹿児島県における身体語彙の通時的変化－鹿児島市，伊佐市，枕崎市，南九州市穎娃町の調査を中心として |
| | 石器組成からみた南九州の生業活動－後期旧石器時代から縄文時代移行期を中心に－ |
| | 過疎地域における「よそ者」の参加からみる祭りの存続 |
| | 中国における文芸青年の現状と分析 |
| | 在日中国人留学生の来日動機に関するライフストーリーについての研究 |
| 令和2年度 | 総合病院医療従事者のストレス認知に影響を及ぼす生物・心理・社会的要因の検討 |
| | 出水式土器についての考察 |
| | 民俗芸能の実践に関する文化人類学的考察－鹿児島県硫黄島の八朔太鼓踊りの事例から－ |
| | 九州における古墳時代馬具の研究 |
| | 消費購買場面における単純接触効果の応用－オンラインショッピングを想定して－ |
| | フルンボイル市エヴェンキ自治旗におけるシャーマニズムの再構築 |
| | 『西遊記 ヒーロー・イズ・バック』研究——アダプテーションと映像分析を中心に—— |
| 令和3年度 | 地域社会における子育て支援の人類学的研究－鹿児島市の母親たちの語りから－ |
| | 高取焼の考古学的研究－内ヶ磯窯水指における小堀遠州の影響－ |
| | 体験型観光におけるホストとゲストに関する研究－「奄美の里」を事例として |
| | 蒲生和紙に関する人類学的研究 |
| | 現代におけるアニメ聖地巡礼者に関する研究－「鬼滅の刃」を事例として |
| | 日本語の男女差における経年変化－テレビドラマの台詞を対象として－ |

| | |
|-------|--|
| 令和4年度 | 歯科診療時における小児の行動差とその要因 |
| | 鹿児島方言話者の言語使用 |
| | 中国語の新語「内巻」に関する一考察 |
| | 在日ネパール人留学生のソーシャル・ネットワークを生かした生活戦略 |
| | 高齢者の社会活動への参加プロセスに関する研究―鹿児島市で暮らす定年退職者の事例を通して― |
| 令和5年度 | 参加型文化とファンカルチャーに関する一考察 |
| | 中国におけるオーディション番組とネットワーク社会の関係を中心に |
| | 中国村落社会における共同性と「関係」 ―浙江省湖州市長興県洪橋鎮舟山浜のエスノグラフィー― |
| | 学習塾における人間関係に対する一考察 ―山東省新泰市S学習塾を例として― |
| | 中世須恵器の研究―樺番城窯・大日窯・亀山窯を中心に― |
| | 1950年代における岩波文庫の受容と雑誌『文庫』 |
| | 雄マウスの求愛発声として表出される性的動機づけ：音響特性と神経メカニズムの探索 |
| | 離島出身者における若年層のUターン移動に関する研究―大島郡徳之島町を例として― |

国際総合文化論専攻

| 修了年度 | 修士論文題目 |
|-------|--|
| 令和元年度 | 中国語における日本語借用語の定着実態—日本の映像作品の中国語字幕と吹き替えを対象として— |
| | 都市平安京における神泉苑—苑池の史的意義— |
| | 森鷗外漢詩研究—『大正詩文』における漢詩とその評について— |
| | 半音傾向から見た奄美島唄の変容—坪山節の成立と伝承を中心に— |
| | 為永春水『春色梅児誉美』論—女性の人物造型を中心に— |
| | 中国人日本語学習者の日中同形二字漢語の習得について—コーパスに見られた誤用を中心に— |
| 令和2年度 | 伊坂幸太郎作品研究—『オー！ファーザー』における本文改稿を中心に— |
| | ブルターニュの地域アイデンティティの変容—インターケルティック・フェスティバルを中心に— |
| | 日向国から宮崎県成立へ—美々津県・都城県・鹿児島県における専売商社— |
| | 遊女の歴史と変遷 |
| 令和3年度 | 芥川龍之介文学作品の中国語翻訳について—二文字の漢字語彙を中心に— |
| | 豊臣秀吉の対外政策—朝鮮出兵とキリスト教制限— |
| | スピノザにおける寛容と連帯—感情療法を仲立ちとして |
| | 鹿児島県羽島崎神社の『舟唄』の歌唱について |
| | ベルクソンの『意識に直接与えられたものについての試論』における「持続」について |
| | 後期フーコーにおける規範 |

| | |
|-------|---|
| 令和4年度 | 秦漢における刑罰一家長権力を中心として― |
| | 嘉永七年御所炎上から安政二年宸筆御製授与における島津家の交際 |
| | 薩摩藩島政策に関する基礎的考察 |
| | ベルクソンにおける社会体の問題について |
| | The role of subtitles in learning English |
| | 明治期における北京官話の言語的特徴―『北京官話伊蘇普喩言』を中心に― |
| | 漢代の墓葬に関する研究 |
| 令和5年度 | 喜入李久関係文書にみる将軍足利義昭と島津氏 |
| | 島津忠昌期における島津氏領国の対外交流 |
| | 江戸川乱歩『孤島の鬼』論―同性愛と人間改造を中心に― |
| | 万延元年遣米使節に関する考察―使節がもたらした洋書とその受容― |

地域政策科学専攻

| 修了年度 | 博士論文題目 |
|-------|--|
| 令和元年度 | 村上春樹研究－語りの諸相と自他の表出－ (A study of Haruki Murakami : Aspects of Narration and Representation of the self and others) |
| | 中国オートバイ産業における4大集積地と外国資本を中心とした市場行動に関する研究 (A study on the four accumulated areas of the motorcycle industry in China and the market conduct by the foreign capitals) |
| | 戦後日中関係における天皇訪中問題 (The Issue of the Japanese Emperor's Visit to China in Post-war Sino-Japanese Relations) |
| 令和2年度 | 中国における日本語専攻学習者の日本認識の形成および修正について (The formation and correction of Japanese recognition of Japanese majors in China) |
| | 中国語における日源新詞の受容について (The acceptance of Riyuanxinci in Chinese) |
| | <開発>をめぐる地域住民の意思決定プロセス―鹿児島県における石油基地の導入を事例として― (On Processes of Local People's Decision-Making on Development : A Case Study of Oil Bases Planning in Kagoshima Prefecture) |
| 令和3年度 | 成川式土器の研究 (Study of Narikawa-style pottery) |
| | 中国の家計における金融商品投資と借入金問題 ―非銀行系融資の急増について― (Financial products investment and lending problems in Chinese households -About the rapid increase in non-bank loans-) |
| | 謝罪言語行動に関する日中対照研究 ―インターアクションの視点からの考察― (A comparative study of apology in Japanese and Chinese : Consideration from the perspective of interaction) |
| | 地域社会の戦争記憶の形成と継承 ―鹿児島県の事例を中心に― (Formation and Inheritance of War Memories in the Local Communities : Focusing on the Case of Kagoshima Prefecture) |

| | |
|-------|--|
| 令和4年度 | <p>中世小歌の研究－漢詩・漢語との関連性の視点から－ (Medieval Kouta songs-the relevance of classical Chinese poetry and Chinese)</p> |
| 令和5年度 | <p>『白鯨』研究－物語世界と共鳴する音表現の諸相－ (A Study of Moby-Dick: Aspects of Sound Expressions Resonating with the Narrative World)</p> |
| | <p>問題処理過程における組織間構造－地方分権改革以後の生活保護行政を事例に－ (Inter-Organizational Structure in the Problem-Solving Process: The Case of Public Assistance Administration after Decentralization Reform)</p> |
| | <p>水俣のもやい直しの研究－修復的正義の歴史社会学 (A study of Minamata's Moyai-Naoshi : Historical Sociology of Its Restorative Justice Efforts)</p> |